

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2020年6月20日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

**国立病院機構八雲病院機能移転計画** **新型コロナウイルス感染が終息していない中**  
**重症患者・重度障害者を八雲から札幌・函館・帯広への移送はやめて**

リハーサルは6月23・24日 8月上中旬の移送計画 函館(8/18)・札幌(19~21日)

全医労・道医労連は、患者さんや家族とともに、新型コロナウイルスによる八雲病院機能移転計画の延期を求めて、国立病院機構や国会議員などに働きかけをしています。

## 札幌までは245キロ 移送時間は6時間以上

国立病院機構八雲病院（240床）は、筋ジストロフィー（120床）、重度心身障害児者（120床）が療養しています。この病院を廃止し、札幌の北海道医療センター（245キロ）や国立病院機構函館病院（82キロ）などに患者を移送する計画です。入院患者の多くは免疫力が低く、安全かつ感染リスクを避けて移送することは難しく、移送先の医療機関は、新型コロナウイルス感染症患者を受けているため、患者の家族から心配の声が寄せられています。

## 『子どもの命を助けてください』

「患者は全身の筋肉がおかされる病とたたかいながら、病院スタッフのもとで1分1秒ギリギリ生きています」「予定通り移転に踏み切るとは、重度の障害を持つ八雲病院の子どもたちの命を危険にさらすこととなります。呼吸器などの医療機器に頼っていきる子どもたちも多く、もし新型コロナウイルスに感染したら体の弱い子どもたちは重篤となり命を落とすこととなります。

親、家族としてできることは、『誰か、子どもの命を助けてください』と懇談するだけです」（八雲病院患者有志）



6月19日には、札幌市内で記者発表しました。Webを使って、八雲から看護師の代表も、直接訴えました。

27日(土)13時30分から 道社保協総会

## 新型コロナウイルス災害 各分野から特別報告

6月27日(土)13時30分から、第27回北海道社保協総会が行われます。北海道高等学校教職員センター4階大会議室（札幌市中央区南大通西12丁目）。総会のはじめには、新型コロナウイルス災害の影響や取り組みについて、各分野から特別報告していただくことになりました。

- |                                       |                   |
|---------------------------------------|-------------------|
| <input type="checkbox"/> 医療現場の実態を中心に  | 鈴木 緑 さん（道医労連委員長）  |
| <input type="checkbox"/> 労働者の実態を中心に   | 三上 友衛 さん（道労連議長）   |
| <input type="checkbox"/> 中小業者の実態を中心に  | 井上 元美 さん（北商連事務局長） |
| <input type="checkbox"/> 生活保護・くらしを中心に | 細川 久美子 さん（道生連副会長） |

今年の総会は、新型コロナウイルス災害で多くの住民のいのちやくらしが脅かされている中、この1年間の活動を振り返り、今後の方針について話し合います。多くの方が新型コロナウイルス災害を通して、国や社会のあり方を考え始めています。また、この間の世論や運動で政治を動かせることを実感しはじめています。

尚、総会は、新型コロナウイルス感染予防のため、会場の消毒、換気、座席の間隔確保など準備しますが、参加にあたっては、それぞれの加盟組織の判断もあると思いますので、各自ご判断願います。